

Relationship

<http://art-c.keio.ac.jp/~rwg2>

キー・スピーチ

副島博彦 (立教大学) × 溝端俊夫 (大野一雄舞踏研究所) × 森下隆 (土方巽アーカイヴ)

日時・場所

2015年 **2月27日** [金] 18:30—

慶應義塾大学 三田キャンパス 東館 6F G-sec Lab 参加無料 事前申込み不要

108-8345 東京都港区三田 2-15-45 JR 田町駅・地下鉄三田駅より徒歩 8 分

お問合せ

慶應義塾大学アート・センター tel. 03-5427-1621 ac-am@adst.keio.ac.jp

近年のアートアーカイヴへの関心の高まりとアーカイヴの設立の動きは顕著です。とはいえ、パフォーマンスあるいはダンスのアーカイヴは、日本においては数えるばかりです。作品が残らない舞台芸術であればこそ、その調査や研究にあたってのアーカイヴの重要性を喋喋するまでもありません。

大野一雄アーカイヴと土方巽アーカイヴは、昨年9月、プッパタールのピナ・バウシュアーカイヴの設立記念のイベントに招かれました。そこで、今後の課題として問われたのがアーカイヴの国際連携です。ヨーロッパにおけるアーカイヴの歴史は日本を凌ぐことは言うまでもありませんが、それだけに、国際的な視座をもってアーカイヴを捉えておくことは意義あることです。

今回のトークセッションでは、ドイツのアーカイヴに詳しい副島博彦氏によるその歴史的な紹介から始め、溝端俊夫氏と森下隆が、各々のアーカイヴの歴史と現状を報告します。そして、国際連携の意義やあるべき姿、国際連携の可能性などを討議して、今後のアーカイヴ活動への指針を生むことができると考えています。

トークセッションII

パフォーマンスアーカイヴの現在：国際連携をもとめて

アート・アーカイヴ・マネジメントWG シーズンI

Relationship

<http://art-c.keio.ac.jp/-/rwwg>

展覧会の記録や作品制作の記録など、アートに関する資料の「アーカイヴ」を構築し活用することは、美術館などの公的な文化施設だけではなく、画廊やNPOなど、アートに関わる実務家たちの重大な関心事であり、様々な規模でのアーカイヴ設置が進められています。本プロジェクトでは、「マネジメント」という切り口からアーカイヴの社会的・文化的意義や効果に関する考察や長期的運用を可能にする方法の検討を行います。

トークセッション1

アートと社会のつなぎかた：動き出す日本の文化資源

熊倉純子 (東京芸術大学) × 太下義之 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

2015年2月4日(水) 19:00～ 慶應義塾大学 三田キャンパス 東館8Fホール

トークセッション2

パフォーマンスアーカイヴの現在：国際連携をもとめて

副島博彦 (立教大学) × 溝端俊夫 (大野一雄舞踏研究所) × 森下隆 (土方巽アーカイヴ)

2015年2月27日(金) 18:30～ 慶應義塾大学 三田キャンパス G-sec Lab

トークセッション3

アーティストとアーカイヴ：《陸と海》(1970)を巡って

2015年3月7日(土) 13:30～15:30 [予定] 慶應義塾大学 三田キャンパス 東館6F G-sec Lab

河口龍夫 (現代美術作家) × 横田茂 (横田茂ギャラリー) × 渡部葉子 (アート・センター)

お問い合わせ

慶應義塾大学アート・センター tel. 03-5427-1621 ac-am@adst.keio.ac.jp